

いぐさに対する

L P コ ー ト の 肥 効

熊本県鏡町農業協同組合
指 導 課 長

岩 瀬 安 雄

(1) はじめに

昭和55年度、いぐさの全国作付面積は9,370ha、熊本県はその66%を占める6,190ha、鏡町農協の作付面積は498haである。八代町農協におけるいぐさ栽培は、1502年より始まり、作付面積は年々増加して来たが、水稻転作による全国的な作付面積の増加や、家屋建築様式の変化等により、原草および畳表の価格は低迷し、出荷調整、自主減反等の対策が行なわれ、適正価格維持のため、より品質の向上が論ぜられている。またいぐさ栽培における追肥チッソ量は、県基準より多く、地力の低下が問題視されている。

(2) 展示ほ実施について

L P コ ー ト (被覆尿素)は尿素を特殊樹脂でコーティングし、その樹脂に添加した溶出調整剤の量により、尿素的溶出量を調節し、肥効をコントロールした肥料である。熊本県農業試験場八代支場いぐさ部基礎試験成績を参考にし、L P コ ー ト 40を収穫65日前に施用することにより、いぐさ栽培において困難な、中、後期追肥を省力化、少量化し、合せて追肥と追肥の間をつなぐ地力チッソの肥効により、品質の向上と生産費の低下を期待し、農協いぐさ部会各支部に1カ所ずつ計10カ所の展示ほを設置した。

展示ほ施肥設計は下記の通りで、収穫期日の65日前にL P コ ー ト 40を10a当り100kg(N-40kg)を施用した。

展示ほ施肥設計 kg/10a

肥料名	施肥期		
	65日前	55日前	45日前
L P コ ー ト 40	100 kg	kg	kg
塩 化 加 里	20	20	20
過 石	30	40	
硫 安			30

追肥成分量 N P K
46.3 11.9 3.6

(3) 生育状況の概要

L P コ ー ト 40の展示ほ生育状況は、砂質土壌地帯(カキガラ地区を含む)では、先刈後の初期生育より順調で、生育中期においても良好であったが、後期幾分チッソが不足気味となった。一方壇壤土地帯および壤土地帯では、初期生育がやや遅れ、硫酸追肥による調整をした所もあったが、その後生育は順調であった。

鏡町農協管内における追肥チッソ量は10a当り48kg程度であり、展示ほ場の施用量はチッソ量で2kg程度少なかった。

カキガラ地区は土壌pHが高く、いぐさ栽培では長いが取れないと言われていたが、L P コ ー ト 40を施用したカキガラは場の生育は良好であった。

茎色は先刈後より収穫期まで、ほとんど変化せず、いぐさ本来の茎色である笹色(きみどり)で推移し、濃緑色にならず、鏡町農協以外のいぐさ栽培専業農家からも注目された。

(4) 調査成績

収量調査は八代農業改良普及所の調査基準に順じ実施した。

収量結果は表一の通りである。展示ほ10カ所の刈取期日は、3回にまとめたため、刈取適期より幾分早いほ場、遅れたほ場もあったが、85cm以上乾い重量の平均値は10a当り1297kgで、56年度鏡町農協作況調査収量(早刈1217kg、普通刈1160kg)より優った。茎長149cm、乾燥歩留31%、120cm以上の長い率62%で、各々作況調査成績より優った。

乾燥歩留について、6月30日に刈取った3点は、降雨日であったため、刈取ったいぐさはぬれており、85cm以上すぐり重は高く、乾燥歩留が異常に低下したため、参考値とし、平均値に加えなかった。

10株個体調査結果は表二に示す通りである。

茎長は収量調査における茎長とかわらず、先枯長、着

表一 収量調査成績 50株刈取調査

氏名	土性	刈取期日 月・日	刈取期 天候	85cm以上		乾燥		120cm以上		3.3m ²	
				乾い重量 kg/10a	葉長 cm	歩留 %	長い率 %	株数 本			
宮崎信行	地壌土	6.25	曇	1,208	150	31	66	52	83.2		
浜田 語	地壌土	6.25	曇	1,203	144	30	52	87.2			
山本 猛	砂壌土 (カキガラ)	6.25	曇	1,513	150	31	67	97.0			
高田勝憲	壤土	6.30	雨	1,297	150	*26	61	92.8			
山田清喜	砂壌土	6.30	雨	1,246	154	*25	66	86.9			
田口信隆	砂壌土	6.30	雨	1,244	146	*26	62	93.4			
田崎明義	地壌土	7.11	晴	1,339	148	30	58	93.0			
水上正義	砂壌土	7.11	晴	1,515	155	32	65	93.2			
前田留芳	地壌土	7.11	晴	1,273	150	32	60	92.3			
前田兼義	壤土	7.11	晴	1,130	145	31	61	87.6			
平均				1,297	149	31	62	90.8			

* 降雨日刈取りのため、3点は参考値とし、平均値に加えてない。

花数等品質面で問題はなかった。

なお乾燥いは、熊本県農業試験場八代支場において量

表二 10株個体調査成績

氏名	葉長	60cmすくり				105cmすくり	
		先枯長 3.0cm	精莖数 160本	枯死莖数 3.6本	精莖数 94本	着花数 6.1個	
宮崎信行	151cm						
浜田 語	145	2.3	135	2.2	76	0.7	
山本 猛	152	3.4	147	3.1	90	3.2	
高田勝憲	150	3.1	136	4.6	86	2.2	
山田清喜	154	3.6	146	2.3	89	0.7	
田口信隆	147	3.2	145	2.7	92	0.0	
田崎明義	148	1.8	137	1.2	96	0.1	
水上正義	155	2.0	144	2.7	113	0.2	
前田留芳	150	1.9	157	6.5	109	2.5	
前田兼義	145	1.2	138	3.2	86	1.0	
平均	149.7	2.6	144.5	3.2	93.1	1.7	

表に加工してみたが、製繊後の量表は、色沢、品位とも良好であり、また展示ほ場のいぐさは、量表市場価格で、一般ほ場の物に比較し、優るとも劣ることはなかった。

(5) まとめ

いぐさに対するLPコート40の肥効確認は、展示ほであるため、特に対象ほ場は設けず、付近一般ほ場との生育観察を重点とし、1区30a、10カ所の展示ほをい業部会で実施したが、LPコート40の収穫65日前施用は、収量、品質に良い結果を示した。

いぐさ栽培において、砂質土壌は前期に生育が進み、後期に落ちるのが普通であり、また粘土質土壌では、前期生育が遅れ気味に推移し、後期に良くなって来るが、この展示ほでも、施肥法、施肥量を一定にしたため、その傾向が認められた。

干拓地はカキガラ田が有り、pHが高いことより、多量のチッソを施用してもいぐさが伸びず、品質に問題が

有り、いぐさ栽培は不適地と言われていたが、この展示ほの中では特に良い結果を示し、いぐさ生育期間を通じ、農家より注目された。

鏡町農協いぐさ施用肥料は、元肥に硫加隣安264(12-16-14)、追肥は隣加安454(14-5-14)、および硫安が中心であるが、LPコート40は、い業部会において総合検討がなされ、57年産いぐさの追肥に導入した。施肥設計は表一3の通りである。

表一4に示す、単肥による追肥施肥設計と比較し、施肥の単純化、省力化が可能となり、いぐさ栽培における中、後期多量追肥の作業上の困難を解消出来ることとなった。

(6) おわりに

LPコート40の展示ほは、57年度八代地区農協営農生活指導者推進協議会でも実施されることとなり、現在施用されている追肥化成との組合せも検討されることになった。また元肥に施用する考え方も有り、これらの施用法は、今後の検討を待

表一3 LPコート40施肥設計

肥料名	kg/10a			
	収穫75日前	収穫65日前	収穫55日前	収穫45日前
LPコート40		100		
塩化加里	5	20	20	20
硫 安	20			40
過 石	40			

表一4 単肥施肥設計

肥料名	kg/10a					
	1回	2回	3回	4回	5回	6回
硫 安	20	40	40	50	50	30
塩化加里	5	10	10	20	20	
過 石	40					
油 粕	50	50				

たねばならない。

最後に展示ほ実施にあたり、御指導を賜った熊本県農業試験場八代支場い業部の田島富男部長、八代農業改良普及所の緒方武雄専事、調査に御協力いただきたい業部会展示ほ担当者に御礼申し上げる。